

EFA : 2015年に向けてバングラデシュの実績と日本の貢献

シャマル・カンティ・ゴーシュ
バングラデシュ農業省事務次官
元初等教育局長

1

概要

パート1:

- バングラデシュの初等教育の背景
- 万人のための教育(EFA)の6つの目標
- EFA達成のための主な政策と改革
- これまでの実績
- ポスト2015年教育開発とビジョン

パート2:

- 初等教育開発計画(PEDP)へのJICAの参加
- PEDP-II および III におけるJICAの主な活動
- EFAを達成するための取り組みと、外国の協力の役割
- バングラデシュの課題と今後の取り組み

2

パート 1

3

バングラデシュの概要

独立	1971年3月26日
地理的立地	南アジア 北緯20°34' から26°38'、東経88°01' から92°41'
面積	147,570 km ²
首都	ダッカ
人口	約1億6千万人(2011年の人口調査)
国語	ベンガル語
行政区	管区: 8、県:64、ウボジラ:480
初等教育行政区	管区: 7、県:64、タナ/ウボジラ:504

4

はじめに

- バングラデシュは、世界でも最も人口密度が高い国の一つ。総人口は1億6千万人(バングラデシュ統計局2011年国勢調査)
- 男女比は105:100。
- 人口密度:1222人/sq.km。

出典: BBS-2011

5

バングラデシュ憲法で定められた義務

- ...均一で大衆的かつ普遍的な教育制度を確立し、すべての子供たちに法律で定める段階まで無償義務教育を提供する...
- 社会のニーズに合わせた教育を提供し、それらのニーズに応えることができるよう適切に訓練された意欲ある市民を育てる。
- 法律で定める期間内に、非識字を解消する。

6

背景

バングラデシュの初等教育制度は、世界でも最大の制度の一つである。独立以来、初等教育を改善するために、多くの施策を実施してきた。これらの努力により、就学率とジェンダーの公正さはめざましく改善された。

しかし児童生徒の学習成績の質および中途退学者の問題はいまだに大きな懸念である。

7

背景(続き)

バングラデシュ人民共和国は、1990年の「万人のための教育(EFA)」宣言に調印して以来、初等教育の完全普及に積極的に取り組んできた。

初等教育の質を改善するために、バングラデシュ政府は開発パートナーと共に、2004年以来、初等教育開発計画(PEDP)として知られるサブセクターワイドの統合プログラムに取り組んできた。

現在、初等教育部門のすべてのレベルの質を高めるために、第3次初等教育開発計画(PEDP III)を2011年から2016年まで(2017年まで延長)実施している。

8

EFA とは

- **万人のための教育(EFA)**は、**ユネスコ**(国際連合教育科学文化機関)が主導し、2015年までにすべての子どもたち、若者、成人の学習ニーズを満たすことを目的とした世界的な運動である。
- **ユネスコ**は、「万人のための教育」を達成するために、この運動を指導し、国際的な活動を調整する責任を担っている。各国政府、開発機関、市民団体、NGO、メディア等はこれらの目標を達成するために協力するパートナーである。
- EFAの目標は8つの**ミレニアム開発目標**(MDGs)、特にMDGのゴール2の初等教育の完全普及、およびゴール3の教育におけるジェンダー平等を2015年までに達成しようとするグローバルな取り組みにも寄与する。

9

EFAの6つの目標

- 目標1: 就学前保育・教育を拡大する。
 - **目標2: 無償の初等義務教育をすべての人々に提供する。**
 - 目標3: 若者および成人に、学習と生活技能の習得を促進する。
 - 目標4: 成人の識字率を50%改善する。
 - 目標5: 2005年までに男女格差を解消し、2015年までに男女平等を達成する。
 - **目標6: 教育の質を改善する。**
- 6つの目標の中で、JICAは特に目標2と目標6の達成をめざし技術協力している。

10

EFAの達成をめざした主な政策、戦略、改革

- 憲法17条に加えて、
 - バングラデシュは1990年以来、次の法律・政策・計画活動に基づいて、基礎教育開発を進めてきた。
- 1. 初等義務教育法(1990)
- 2. EFA国家行動計画 I・II (1992-2000, 2003-15)
- 3. 国家ノンフォーマル教育政策(2006) および法(2014)
- 4. 国家教育政策(2010)
- 5. 国家技能開発政策(2011)
- 6. 第6次5ヵ年計画(2011-15)
- 7. ビジョン2021、見通し計画(2011-21)
- その他の政策や法律:
 - 包括的就学前保育教育政策(2013)、国家女性開発政策(2011)、国家児童政策(2011)、障害者権利保護法(2013)など

11

目標1における実績 – 就学前保育・教育

- PEDP II (2004-11) および PEDP III (2011-16) により、すべての公立小学校で就学前クラスが作られ、1年間の就学前教育が支援されている。
- 2012年、就学前児童の80%以上が、何らかの就学前教育を受けている。
- 就学前教育を共通水準の質で実施することを目指し、実践枠組み及び政府・NGO間の協力ガイドラインが作られた。
- 2013年に包括的なECD政策が採択された。

12

目標2における実績 – 初等教育の完全普及

- **目標2: 無償の初等義務教育をすべての人々に提供する。**

13

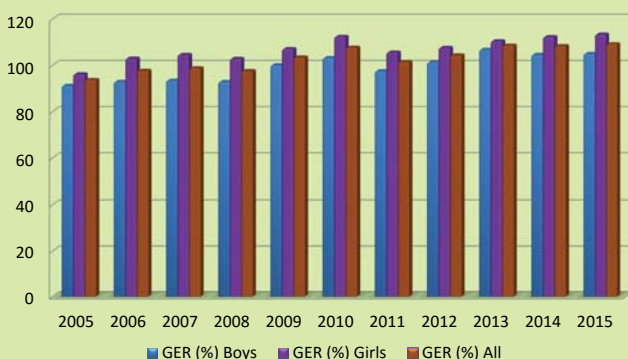
年別総就学率・純就学率

年	総就学率 (%)			純就学率 (%)		
	男子	女子	計	男子	女子	計
2005	91.2	96.2	93.7	84.6	90.1	87.2
2006	92.9	103.0	97.7	87.6	94.5	90.9
2007	93.4	104.6	98.8	87.8	94.7	91.1
2008	92.8	102.9	97.6	87.9	90.4	90.8
2009	100.1	107.1	103.5	89.1	99.1	93.9
2010	103.2	112.4	107.7	92.2	97.6	94.8
2011	97.5	105.6	101.5	92.7	97.3	94.9
2012	101.3	107.6	104.4	95.4	98.1	96.7
2013	106.8	110.5	108.6	96.2	98.4	97.3
2014	104.6	112.3	108.4	96.6	98.8	97.7
2015	105.0	113.4	109.2	97.1	98.8	97.9

Annual Primary School Census (APSC) – 2015

14

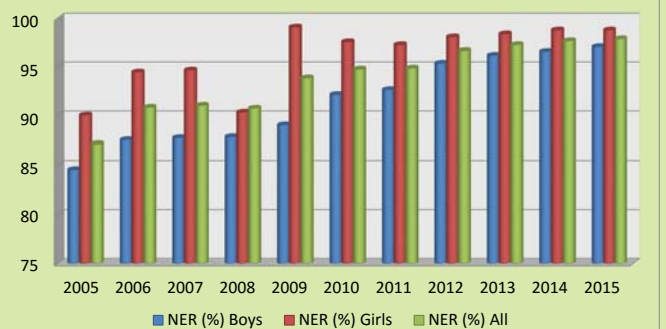
総就学率 (%) 2005年 - 2015年



Annual Primary School Census (APSC) – 2015

15

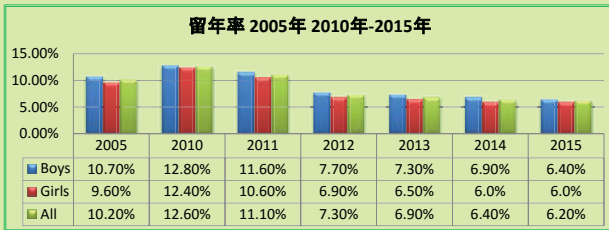
純就学率 (%) 2005年 - 2015年



Annual Primary School Census (APSC) – 2015

16

年別・性別留年率



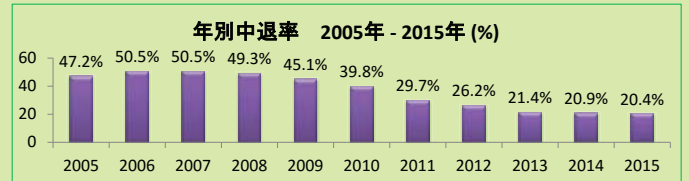
学年別・性別留年率 2015年 (APSC調査)

性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	全学年
男子	8.1	6.3	6.2	7.5	3.1	6.4
女子	7.8	5.1	6.8	7.9	1.9	6
全体	7.9	5.7	6.5	7.7	2.4	6.2

学年別中退率 2015年

性別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	全学年
男子	2.3%	4.0%	4.0%	11.8%	2.2%	23.9%
女子	0.8%	2.5%	3.0%	08.5%	2.0%	17.0%
全体	1.6%	3.2%	3.4%	10.1%	2.1%	20.4%

年別中退率 2005年 - 2015年



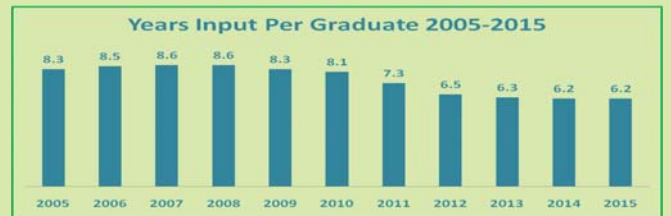
年別効率係数 2005年 - 2015年

年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
男子	58%	56.6%	56.5%	57.5%	59.1%	62.8%	67.7%	75.6%	77.3%	77.3%	77.8%
女子	63.2%	61.3%	61.1%	59.1%	62.8%	61.8%	70.5%	79.2%	82%	82.7%	82.3%
全員	60.6%	59%	58.8%	58.3%	61%	62.3%	69.1%	77.4%	79.7%	80%	80.1%



Years Input Per Graduate 2005 -2015

Gender	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
Boys	8.6	8.8	8.9	8.7	8.5	8	7.4	6.6	6.5	6.5	6.4
Girls	7.9	8.2	8.2	8.5	8	8.1	7.1	6.3	6.1	6.0	6.1
All	8.3	8.5	8.6	8.6	8.3	8.1	7.3	6.5	6.3	6.2	6.2



初等教育修了試験 2009年 - 2014年

年	学校数	受験有資格者数 (DR)			受験者数			合格者数		
		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
2009	81,389	907,570	1,072,325	1,979,895	830,880	992,585	1,823,465	751,466	868,588	1,620,054
2010	85,891	1,007,066	1,149,655	2,156,721	894,369	1,045,962	1,940,331	829,531	962,120	1,791,651
2011	87,832	1,066,828	1,249,693	2,316,521	1,000,757	1,184,990	2,185,747	975,529	1,150,340	2,125,869
2012	92,328	1,206,694	1,435,209	2,641,903	1,125,834	1,355,285	2,481,119	1,098,073	1,317,268	2,415,341
2013	87,197	1,215,532	1,423,713	2,639,045	1,154,805	1,364,222	2,519,032	1,138,898	1,344,244	2,483,142
2014	89,912	1,281,218	1,508,045	2,789,263	1,226,936	1,456,845	2,683,781	1,200,876	1,427,270	2,628,083

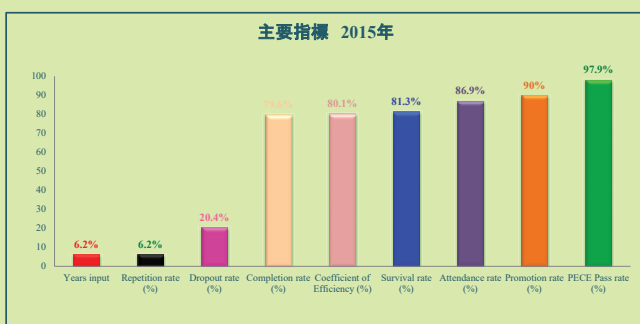
初等教育修了試験 2009年 - 2014年

年	受験者数	欠席者数	合格率 (%)		
			全体	男子	女子
2009	1,979,895	156,430	88.84	90.44	87.51
2010	2,156,721	216,390	92.34	92.75	91.98
2011	2,316,521	130,774	97.3	97.48	97.08
2012	2,481,119	160,784	97.35	97.53	97.19
2013	2,519,032	120,013	98.58	98.62	98.54
2014	2,683,781	105,4821	97.93	97.74	97.97

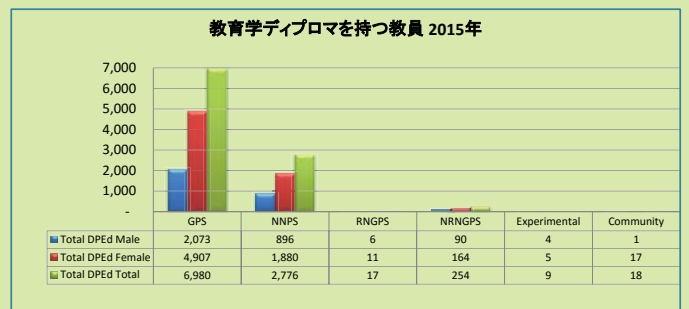
イスラム学校初等教育修了試験 2009年 - 2014年

年	EECE 受験者数	欠席者数	EECE合格率 (%)		
			全体	男子	女子
2010	264,866	66	83.93	86.19	82.01
2011	272,171	48,989	91.28	92.51	90.23
2012	276,373	53,396	94.33	94.88	93.77
2013	273,979	48,213	95.80	96.18	95.44
2014	265,974	40,084	95.98	96.11	95.84

主要指標 2015年



教育学ディプロマを持つ教員 2015年



目標3における実績

- Up until the last part of previous century 11歳から15歳の子供たちの半数未満しか就学していない。
- 中等教育の高い中途退学率のために、同年齢層の3分の1未満しか中等教育を修了していないat that time but the scenario has recently changed radically。
- 非就学者の約11%しかフォーマルやノンフォーマルの職業訓練を受けていない。インフォーマルな見習いは半数を超える。
- 2010年の教育政策は、2018年までに初等義務教育を8年生まで引き上げ、職業・技術訓練を拡大することを提案している。

25

目標4における実績 – 成人の識字率

- 成人の識字率は、2010年には**59.8%**になった。(2010年識字率調査)
- 最近承認された識字プロジェクト(2014年2月)は、2003年以来初めての主要な成人識字プロジェクトとなる。3年間で450万人の若い成人を対象に実施する予定。

26

目標5における実績 – 男女格差の解消と平等

- バングラデシュは初等教育・中等教育の就学率において、この20年間で男女格差を克服した。
- 実際、女子の就学率と修了率は男子より高い。家族を支えるために少年が児童労働に引き込まれて不利な立場に立たされている懸念がある。
- 成人の識字率や職業・技術教育訓練における男女格差は改善されてきているが、まだ残っている。

27

目標6における実績 – 教育の質

- 教育の質はいまだに問題である。特に、学習者が基本的な能力を身につけていない点が問題。
- 児童-教員比は、現在の中間目標の40:1を達成できていない。
- 80%の学校が、2交代制で授業を行っている。
- このような状況で、効果的な授業時間が確保されていない。
- 能力に基づく学習評価と教員の技術や専門性を改善する努力が継続的に行われている。
- 授業の質を改善するために、バングラデシュの何カ所かで学校を選んで、*Shikhbe Protiti Shishu* (Each Child Learns: すべての子どもが学習する) というパイロットプロジェクトを実施中。
- 小学校教員および学校管理委員会のメンバーの職能開発が進行中。

28

教育省管轄の学校における授業時間数 2015年

学年	授業時間数			
	2交代制の学校		1シフトの学校	
1・2学年	150m x 240日	600 時間	240m x 199日 180m x 41日	920 時間
3・4・5学年	210 x 199日 135m x 41日	810 時間	315 x 199日 270m x 41日	1230 時間

Annual Primary School Census (APSC) – 2015

29 29

全目標のまとめ

- よりよい学習成果を保証するためには、いまだに課題がある。
- 現在の取り組みや2015年までの計画を加速するだけでは解決しない。今すぐやるべき行動、そして2015年以降に取るべき行動の優先順位について、大幅に見直す必要がある。
- PEDP IIIなどの現在のプログラムを見直し、評価し、スキル開発戦略を実行し、包括的なECD政策に関する行動を策定することにより、新たな機会を提供する。

30

いくつかの重要な教訓

- EFAの6つの目標に関する進歩と課題について討議し、その他の最近の分析を検討すると、いくつかの重要な一般的政策と運営に関する教訓が浮かび上がる。
- その中で特に注意すべき教訓は、経済的状況や貧困が学校への参加に及ぼす影響、遅い就学、エリアに基づく計画、教育へのアクセスと参加の管理、都市のスラムに住む子供たちの不利益などにどう対処するかなどについてである。
- 今すぐにすべきこと、およびポスト2015年開発アジェンダの優先事項を考慮しなければならない。

31

パート 2

Major Activities under PEDP-II & III

Initiatives to Achieve EFA & Role of External Cooperation

Challenges and Way Forward in Bangladesh Context

32

PART – II JICA'S CONTRIBUTION

33

JICA's Major Activities under PEDP-II & III

Initiatives to Achieve EFA & Role of External Cooperation

Challenges and Way Forward in Bangladesh Context

34

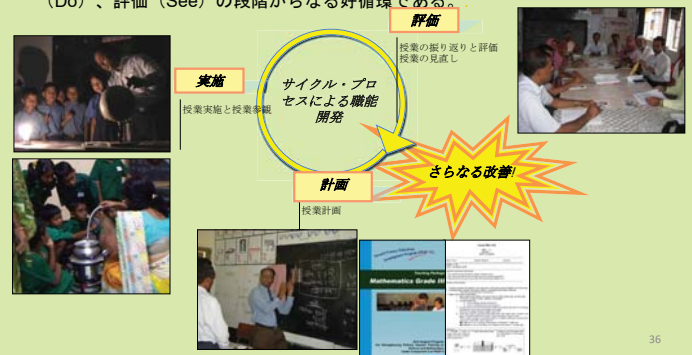
JICAの支援プログラム (理数科教員用指導書作成)

- 次のような特徴を入れた教員用指導書を作成
 - 学習内容の分析に基づいた授業計画を立てる
 - 児童生徒の学習のプロセスに特に注意し考慮する
 - 視覚教材を活用し、詳しく指導する
 - 自由回答形式の質問を多用する
 - 児童生徒同士のインタラクションを推進する
 - 各授業を様々な角度から評価する
- 作成の過程で、パイロット学校と協力し、授業研究のメソッドを活用
 - 「質の高い授業サイクル」の教員用指導書
 - 現場の検証およびフィードバックのメカニズム
- 政府による教員用指導書の承認
- 普及するために研修を実施
- 全小学校に配布

35

質の高い授業サイクル(QTC)

質の高い授業サイクル (Quality Teaching Cycle: QTC) の確立は持続可能で自立的な教育改善のカギとなる。QTCは下記のように、計画 (Plan)、実施 (Do)、評価 (See) の段階からなる好循環である。



36

児童生徒の科学的プロセス能力を 伸ばす支援!



児童生徒のスキルを伸ばすことが、重要な課題の一つ

37

授業研究を通じた教員用指導書の作成

- 授業研究により、教員用指導書がより使いやすいものに改善される。
- 小学校の教員が作成に参加。
- 小学校の教員が、教員用指導書をより活用するようになる。
- 児童生徒が理数科の授業に興味を持つ。
- 現場の教員がカリキュラムの開発者と話し合った。

38

JICAのプログラムが、PEDP-3によるバングラデシュの初等教育の質改善を支援

1. 教員養成制度および教員養成カリキュラムの内容

- # 初等教員養成校のカリキュラムの改訂および理数科教員の参考マニュアルを統合—教員養成校の教育学ディプロマ (DPED) 用「教育パッケージ」
- # 初等教育課程および教科書改訂を支援

2. 初等教員支援ネットワークを作ることによって、質の高い教員を養成するために、初等教員養成校 (PTI) の職能を強化する。

- # スタディ・グループ活動 (SGA) を通じて、初等教員養成校 (PTI) の協力ネットワークを構築
- # スタディ・ワークショップ (SW) を通じて、PTI、現職教員研修機関 (URC)、サブ・クスター、小学校の協力ネットワークを構築

3. 小学校における教授法

- # スタディ・グループ活動 (SGA) およびスタディ・ワークショップ (SW) を通じて、教育パッケージが推奨する教授法の改善を支援

プログラムによる介入の実施前と実施後に調査を行い、活動の成功を評価

PEDP-II: JICAの協力

バングラデシュ政府は、2004年から第2次初等教育開発計画 (PEDP II) を PEDP I の第2フェーズとして、11のドナー団体の協力のもとに開始した。PEDP II は、教育の質を改善することをめざし、主に次の4つの要素から成り立つ。

- 1) 組織改革
- 2) 学校や授業における教育の質の改善
- 3) インフラの改善
- 4) アクセスの改善

この中で、授業における教育の質の改善に関する2)について、バングラデシュ政府は日本政府に技術協力を要請した。

40

PEDP II における JICA の主な活動

- **1年目 (2004-05) :**
- 初等教育の理数科に関する導入的セミナー
- 初等大衆教育省および初等教育局の教育行政職、国立初等教育アカデミー (NAPE) や初等教員養成校 (PTI) の専門家に対する海外研修を広島で実施
- **2年目 (2005-06) :**
- 教育パッケージの開発 (小1-2 算数、小3 理科)
- 理数科の海外研修を広島で実施
- 教育省やフィリピン大学の国立理数科教育開発研究所 (NISMED) における技術交換研修に NAPE や PTI から参加
- **3年目 (2006-07) :**
- 教育パッケージの開発 (小1-2 算数、小3 理科、小3-4 算数、小4 理科)
- NAPE において PTI の校長の研修

41

PEDP II における JICA の主な活動

- **4年目 (2007-08) :**
- 教育パッケージの開発 (小3-5 算数、小4-5 理科)
- PEDP II は教育パッケージをすべての公立学校に配布 (15,000,000 タカ)
- **5年目 (2008-09) :**
- 教育パッケージの開発 (小5 算数、小5 理科)
- PTI のモニタリングと校長およびインストラクターの研修
- 教育パッケージの開発 (小5 算数、小5 理科)
- PEDP II は教育パッケージをすべての公立学校に配布 (15,000,000 タカ)
- **6年目 (2009-10) :**
- 理数科カリキュラムおよび教科書の分析
- カリキュラムセミナーおよび PTI の校長とインストラクターの研修
- PEDP II は教育パッケージをすべての公立学校に配布 (12,000,000 タカ)

42

PEDP III における JICA の主な活動

- **0年目 (2010-11) :**
- 教育ディプロマ課程の教材を改訂 (算数・理科) (JICA の専門家がワークショップに出席)
- PTI のクラスター活動導入研修 (1月9-10日) を、PTI の57人の校長を対象に NAPE で実施 (スタディ・ワークショップ、スタディ・グループ活動を導入)
- PTI のクラスター活動導入研修
- PTI のクラスター活動マニュアル (授業研究) を作成し、すべての PTI に配布
- テレビドラマ "RupantarKotha" を制作

43

PEDP III における JICA の主な活動

- **1年目 (2011-12) :**
- 教育ディプロマ課程の教材を改訂 (算数・理科)
- 初等教育カリキュラムのワークショップおよびセミナー
- 国家カリキュラム教科書委員会 (NCTB) のカリキュラム専門家に対する海外研修を広島大学で実施
- 「質の高い学習に関するワークショップ」をユニセフと共同で実施 (ECL)
- 教科書見本 (算数・理科) を作成
- 教育パッケージの小冊子・チラシを作成し、すべての小学校 (60,000校) および教員 (300,000人) に配布
- テレビドラマ "RupantarKotha" を放送し、すべての PTI および現職教員研修機関に配布

44

PEDP III における JICA の主な活動

- **2年目 (2012-13) :**
- 教育ディプロマ課程の教材を改訂 (算数・理科) (JICA の専門家がワークショップに出席)
- 初等教育カリキュラムセミナー
- NCTB およびダッカ大学教育研究所 (IER) のカリキュラム専門家に対する海外研修を広島大学で実施
- 改訂版教科書を小規模の範囲で試験的に使用
- 科目別研修マニュアル (算数・理科) を作成
- 授業研究を通じた教員サポートネットワークを支援
- テレビドラマ "RupantarKotha 2" を制作
- 学校日記およびコミュニティーラジオの試験的实施

45

PEDP III における JICA の主な活動

- **3年目 (2013-14) :**
- 教育ディプロマ課程の教材を改訂 (算数・理科) (JICA の専門家とコンサルタントがワークショップに出席し、教材を改訂)
- 理数科の改訂版教科書を見直し、報告書を提出
- 改訂版教科書を大規模に試験的使用 (JICA の専門家チームが NCTB を支援し、小1から小3の理科・算数の教科書を改善)
- 教員用指導書を改善 (JICA の専門家チームが NCTB を支援し、小1から小3の理科・算数の教員用指導書を改善)
- 授業研究のパナーを作り、配布
- NCTB および IER のカリキュラム専門家に対する海外研修を広島大学で実施

46

PEDP III における JICA の主な活動

- **4年目 (2014-15) :**
- 教員用指導書の改善 (JICA は NCTB を支援し、小1から小3の理科・算数の教員用指導書を改善)
- テレビドラマ "RupantarKotha 3" を制作・配布し、後にモニターする
- 改訂版教科書を大規模に試験的使用
- 校長のリーダーシップ研修用マニュアルを見直し中
- **5年目 (2015-16) :**
- ビデオ授業評価
- テレビドラマ "RupantarKotha 4" がほぼ完成 (テーマ: 校長のリーダーシップの質)
- 理数科教科書の改善
- JICA のチームは、理数科の教員用指導書の改善を完了

47

EFAを達成するための有望な取り組み

- 効果が上がった主な政策やプログラム
- -- 2004年から実施している初等教育のサブセクターワイドプログラムのアプローチ
- -- 貧困家庭の子供たちに対する条件付き現金給付
- -- 無料教科書の配布
- -- ICT を教育に活用
- -- 就学前教育の取り組み
- -- 学校レベル改善計画 (SLIP) の取り組み
- -- 課外活動—スポーツ、児童・生徒会
- -- 学校給食のパイロット事業

48

外国の協力が必要

- 国家間協力が必要:-
 - a) 国際,
 - b) 地域,
 - c) サブ地域及び二国間,
- 次の形で
- 1) 技術協力
 - 2) 財政支援

49

課題と今後の取り組み

- 政府の高いレベルからのコミットメント,
- 共通の目標を持ったステークホルダの関与
- 計画と管理
- 全てのレベルにおけるモニタリング、評価、アセスメント
- アカウンタビリティ
- 質の高いカリキュラムと教科書
- 教員と知識とモチベーション
- 継続した知識やスキルの強化
- コミュニティの参加
- 分散化
- 親のモチベーションと関与
- 賞罰

50



活動はアウトプットではない。
完了した活動は、短期的成果でもアウトプットでもない。

51

ご清聴ありがとうございました

52